

農村力が企業力を増進!
農村との交流で会社と社員が元気になる

ふくしま

企業向け農村体験プログラムガイド

ふくしまの「農村力」で企業の課題を解決!

社員研修、CSR 活動、福利厚生など、企業活動のフィールドを福島農村に広げてみませんか?
農業体験や地域の人々との交流など、五感で“ふくしま”を感じる非日常の体験は、心身の健康増進や発想の転換、一体感の醸成など、企業の課題解決に効果を発揮します!



福島県農村振興課



企業には「農村力」が効く

「ふくしまの農村力」とは？

人間は、五感を鍛えることで、本来持つ力を取り戻すことができます。福島には、五感を使ってリアルに感じられる豊かな自然や多様な食文化、そして震災からの復興に向けて歩む人々があります。「ふくしまの農村力」には、人間の潜在力を引き出す効果があります。

「ふくしまの農村力」は、企業活動に効果を発揮します。

福島の豊かな自然の中で行う農業体験や農村の人々との交流など、非日常的な体験は自分自身を振り返る機会となり、社員同士の絆も深まります。復興の過程で人の絆や生きる力、自然の大切さを再認識した「ふくしまの農村力」は、組織力の向上や人材育成をはじめ、企業活動にさまざまな効果を発揮します。

福島の「農村体験プログラム」とは？

本格的な農作業や農家民宿など、企業活動に効果的な「農村体験プログラム」をご用意しています。地域ごとに豊かな個性を持つ福島では、企業の目的に応じて多彩なアレンジが可能です。



福島の農村体験プログラムを活用した企業の一例

生産の現場を学び、生産者の想いを消費者へ届ける

参加企業：株式会社パーク・コーポレーション
(フラワーショップ運営他)
実施場所：塙町
実施時期：2018年8月下旬
参加人数：11名
参加目的：店舗スタッフ現地（産地）研修



ダリアの収穫体験



ダリア畑で支柱立ての体験

リラックスして活発な発言、有意義な会議に

参加企業：株式会社プレスマン（IT関連企業）
実施場所：塙町
実施時期：2017年11月下旬
参加人数：10名
参加目的：次年度の事業戦略会議



野菜収穫体験



ダリアの管理作業

若手社員のモチベーションアップ

参加企業：株式会社タムソフト（ゲームソフト制作会社）
実施場所：郡山市逢瀬
実施時期：2017年12月上旬
参加人数：15名
参加目的：若手社員（入社3年目未満）のフォローアップ研修



味噌づくり体験



里山散策

～企業の課題解決の糸口は福島の農村にあり～

企業が抱える課題

- 組織の活力や一体感の減退
- 環境変化に応じた人材育成
- 社員のモチベーション低下
- 社員のメンタルヘルス対策
- 社会貢献と事業の両立
- 福利厚生のある見直し

（研修・CSR活動・福利厚生など） 福島で行う企業活動

企業のメリット・効果

- ▶ 社員同士のつながりの強化
- ▶ 研修内容の多様化、充実化
- ▶ 仕事の意義の再認識
- ▶ 心のいやし、ストレス軽減
- ▶ 事業を通じた地域課題解決
- ▶ 福利厚生の社員満足度向上

農村で実施する研修により、社員の仕事に対するモチベーションの向上が実証されています。👉 詳細は 14 ページへ



株式会社
パーク・コーポレーション
切花担当マネージャー
水野 澄人さん

自社で販売している商品（花）の生産現場を訪問し、収穫から出荷までの作業を体験。商品に対する知識を得るだけではなく、生産者の思いや苦労を実感しました。この体験により、販売の現場でも花1本1本を大切に扱う事が出来るようになり、花の**魅力をお客様に伝えられる人材に成長**してくれたと感じています。



株式会社プレスマン
取締役
萩原 奈穂子さん

新卒メンバーからマネージャーまで、10名で塙町へ伺いました。塙町の美しい自然の中で、美味しい野菜を食べ、温かいおもてなしを受けて、とてもリラックスした2日間を過ごすことが出来ました。通常とは異なる環境で行った会議では、**活発な発言が多く、大変有意義なものとなりました。**



株式会社タムソフト
取締役
小倉 航さん

若手社員を中心としたメンバーで参加。ものづくりの喜びを五感で体感し、それを同僚や地元の方々と共有した体験は、参加した若手社員達の**モチベーションを大きくアップさせた**ようです。心身ともにリフレッシュする事ができ、非常に収穫の多い体験でした。

福島での農村体験に参加した社員の声

仲間の新たな一面が垣間見えて、東京に戻ってから、より一層団結することができました。

地元の方々との交流を通じて、人間の温かさを感じ、生きていることを実感した2日間でした。

自分と向き合い、自身の振り返りや新たな気づきを得られた貴重な時間でした。

非日常に身を置くことで、東京ではできない斬新な発想が生まれると思いました。

普段あまり笑わない社員が常に笑顔だったり、参加者の新たな一面を発見できました。

自分の業務を前向きに説明することで、改めて理想を認識することができました。

農村体験プログラム一覧



(P. 6)

きた かた し た か さ と
喜多方市高郷



(P. 7)

だ て し り ょ う ぜ ん
伊達市霊山



(P. 8)

に ほ ん ま つ し と う わ
二本松市東和



(P. 9)

も と み や し
本宮市

おすすめの体験プログラム

春～秋



棚田での米づくり体験

通年



農地耕作作業体験

通年



農業体験

通年



アスパラガス管理体験

春～秋



阿賀川でのボート体験

秋～冬



あんば柿づくり体験

通年



座禅体験

通年



農産品加工体験

その他のプログラム

- 棚田ウォーク
- 雪囲い体験
- 花の森づくり
(草刈り・植樹)
- 農産物、特産品の共同開発
- えごま油づくり体験

- いなか料理づくり体験
- 健康体操
- ボルダリング
- 野菜農園の共同運営
- 空き家の活用・共同運営
- 米粉パンづくり体験

- 豆腐づくり体験
- 「ふくしま農家の夢ワイン」
見学
- 堆肥センター見学
- 「木幡の幡まつり」参加
- 耕作放棄地の活用方法検討
- 鳥獣被害対策の検討

- 田植え・稲刈り体験
- 農作業体験(収穫から流通)
- 機織り体験
- 苔玉づくり
- 動物とのふれあい体験
- 太陽光発電施設の見学

宿泊施設



農家民宿は15軒あり、一軒あたり4～6名で宿泊可(一部の民宿は10名から15名受入可能)



簡易宿所「ほっこ里」の客室は全3室。2段ベッドの部屋は8名まで、和室は2部屋あり各3名まで宿泊可



農家民宿は23軒あり、一軒あたり3～8名で宿泊可



農家民宿は11軒あり、一軒あたり4～5名で宿泊可

会議施設

カイギウランドたかさと

- ・研修室(20名まで収容)、健康づくり室(50名まで収容)を会議室として利用可
- ・プロジェクター・スクリーン・マイク貸出可

りょうぜん里山がっこう

- ・教室(一室40名)、または宿泊施設ほっこ里(一棟15名)を会議室として利用可
- ・WiFi利用可

道の駅

ふくしま東和あぶくま館

- ・会議室(45～60名を収容可)
- ・プロジェクター・スクリーン・マイク貸出可、WiFi利用可

サンライズもとみや

- ・大ホール(456名まで収容可)、会議室(24名収容が1室、36名収容が1室)
- ・プロジェクター・スクリーン・マイク貸出可

※その他、ご希望に応じてプログラムのアレンジが可能です。



(P. 10)

こおりやましおうせ
郡山市逢瀬



(P. 11)

みはるまち
三春町



(P. 12)

はなわまち
埴町



(P. 13)

しよつくら
いわき市四倉

おすすめの体験プログラム



通年

有機農業体験



6～8月

ブルーベリー農業体験



通年

農業体験（竹パウダー農法）



通年

トマト栽培・収穫体験



11～3月

味噌づくり体験



春～秋

酒米づくり体験



通年

ダリアの管理作業体験



通年

寺修行体験

その他のプログラム

- 郡山市の伝統芸能体験（ひょっとこ踊り）
- 薪割り・薪づくり体験
- 竹細工体験
- いなか料理づくり体験
- 危険予知訓練

- 日本酒づくり体験
- 座禅・写経体験
- 農作業体験（剪定・施肥）
- 星空・天体観測
- 三春ダム堤体内見学
- 福島さくら遊学舎の見学（廃校を活用）

- ダリア染め体験
- そば打ち体験
- 放射性物質検査場の見学
- 農産物・特産品の共同開発
- 耕作放棄地の再生
- 里山環境の整備

- 田植え・稲刈り体験
- 伝統芸能体験（傘踊り、じゃんがら念仏踊り）
- アウトドア体験（キャンプ）
- 食品加工体験（ピクルス）
- トレッキング（勝賀岩）

宿泊施設



農家民宿は5軒あり、一軒あたり4～10名で宿泊可。逢瀬町の温泉宿で宿泊可（定員100名程度まで）



三春の里 田園生活館は、本館の和室が全7室（5～6名で宿泊可）またコテージは全8棟（2名用3棟、4名用4棟、6名用1棟）



湯遊ランドはなわの客室は全24室あり、1名より利用できる洋室・和室は16室。特別室では8名まで宿泊可。全定員は80名まで



ワンダーファームはキャンプで100名宿泊可。いわき蟹洗温泉は全16室（一室2～6名）、宴会場3部屋も宿泊可（一室6～10名）

会議施設

逢瀬コミュニティセンター

- ・会議室（3室：小24名、中54名、大72名）
- ・プロジェクター・展示用パネル貸出可、WiFi利用可

自然観察ステーション

- ・会議室（100名まで収容可）
- ・プロジェクター・スクリーン・マイク貸出可

湯遊ランドはなわ

- ・会議室（50名を収容可）
- ・プロジェクター・スクリーン・マイク貸出可、WiFi利用可

ワンダーファーム

- ・森のキッチン（120席の会議や宴会場として利用可、個室2室は控室等として利用可能）
- ・プロジェクター・スクリーン・マイク貸出可、WiFi利用可



地域の紹介

社員の農村体験研修をインターネットで予約

喜多方市は平成15年、全国に先駆けて「グリーン・ツーリズムのまち」を宣言しました。高郷は、市の西端に位置し、飯豊連峰の豊富な雪解け水に恵まれ、棚田が点在するのどかな里山です。

農家民宿や農業体験プログラムを提供する10団体の窓口となるのが「喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンター」です。各団体の活動内容を紹介し、体験プログラムの予約ができるホームページを運営しています。企業担当者にとっては、オンラインで農業研修を検討し、手配ができる便利なサイトです。春の田植えから秋の稲刈りまで、年間を通して米作りを体験できる「棚田オーナー制度」等、都市と農村の交流を目的とした試みも実施しています。



棚田の向こうに望む磐梯山

プログラム

具体的な目標がモチベーションを上げる



「たかさと元気な農村プロジェクト」会長の橋谷田弘由さんは、企業向けに棚田で“コシヒカリ”を栽培する稲作体験プログラムを実施しています。収穫したお米の商品名や、販売に関するアイデアを参加者から出してもらい、新しい特産品を共同で開発する等、独自の試みを行っています。

「収穫したお米を社員食堂で食べてもらう等、具体的な目標を掲げると、農作業のモチベーションが高まります」（橋谷田さん）。設定する目標により、作業効率が変わることを示す事例ですが、ここには業務改善につながる手掛かりがありそうです。

企業が「過疎・高齢化」や「耕作放棄地増加」等、農村の課題と向き合うことは、社会貢献につながります。農作業体験を通して、農家と一緒に地域おこし、商品開発等を行うことで継続的なつながりが生まれます。



阿賀川でのボート体験



喜多方市高郷には、公式試合でも利用できるボート競技場や冷暖房完備の体育館があります。テニスコートと野球場を併設し、企業の運動会にも利用できます。山歩きや棚田を見てまわる「棚田ウォーク」の人気は高く、社員旅行にもオススメです。



プログラムの一例

- 棚田での米づくり体験
- 阿賀川でのボート体験
- 化石発掘体験
- トレッキング（立岩山）
- 棚田周辺のウォーキング
- えごま油・パウダーづくり体験
- 雪囲い体験
- そば打ち体験
- 草刈り・植樹の体験
- 酒蔵見学
- 味噌づくり体験
- 農産物、特産品の共同開発、PR

問い合わせ先

特別非営利活動法人
喜多方市グリーン・ツーリズム
サポートセンター

〒966-0024
福島県喜多方市熊倉町熊倉字大竹 1364
TEL: 0241-24-4488
EMAIL: info@kitakata-gt.jp
http://www.kitakata-gt.jp



地域の紹介

農作業の達成感が仕事のモチベーションを高める

伊達市のシンボル「霊山」は、標高827mと東北の秀峰として名高い山。その名の通り、強い気を感じる人も多くパワースポットとして隠れた人気があります。花崗岩のケイ素を多く含む土が浄化力に優れていることから、きれいな水に恵まれ、その水が植物に瑞々しい生命力を与えています。ゆったりした時間が流れ、新しい発想を得るにも理想的な環境と言えます。

「りょうぜん里山がっこう」は、廃校となった校舎を活用した体験交流施設です。農作業や保存食を作るなどの農業体験プログラムを実施しています。農作業体験は、その場で作業の成果が見えやすく、達成感や成功体験を得やすいのが特徴です。小さな成功体験を積み重ねることは、自信にもつながります。モチベーションが高まり、積極的に業務に取り組むことで、業績アップにもつながるでしょう。



プログラム

自然、食、運動、交流を通して、心身ともに健康を取り戻す



りょうぜん里山がっこうを運営する高野さん夫婦

「りょうぜん里山がっこう」では、肉体的・精神的に疲れた人々が癒され、健康を取り戻すことができるよう、食事、宿泊、体験プログラムを用意しています。敷地内のパン工場「ボレット」では、天然酵母の米粉パンの製造販売を行っています。もっちり、ふっくら、ここでしか味わえない一品をご賞味ください。



絆が深まる宿泊施設

「りょうぜん里山がっこう」に併設する「ほっこり」は、木の香りとぬくもりに包まれる簡易宿所。キッチン完備で自炊もでき、グループ滞在におすすめ。



「水、空気、食べ物で幸せな暮らしを伝えたい」

霊山の魅力にひきつけられ、都会から移住した石井昭司さん。現在は里山がっこうを拠点に、移住をサポートする活動をしています。「人とのつながりが残り、良質の水、きれいな空気、新鮮な食べ物がある霊山。体も頭も生涯現役で、ここでの幸せな暮らしを紹介していきたい」。



プログラムの一例

- 農地耕作作業体験
- あんぽ柿づくり体験
- いなか料理づくり体験
- 健康体操
- ボルダリング
- 呼吸を整える訓練
- 野菜農園の共同運営（福利厚生）
- 空き家の整備、活用による企業との共同運営
- 霊山歴史散策
- 伝統芸能体験（霊山太鼓など）
- 天然酵母の米粉パンづくり体験

お問い合わせ先

特定非営利活動法人
りょうぜん里山がっこう

〒960-0804
福島県伊達市霊山町大石字細倉 17 番地
TEL: 024-587-1032
FAX: 024-587-1082
EMAIL: info@date-satoyama.com
http://www.date-satoyama.com





被災地の今を知り、社会貢献のあり方を考える

福島県の通称「中通り」北部に位置する二本松市東和。ここは、詩人高村光太郎の代表的な詩集「智恵子抄」に詠われた安達太良山と阿武隈川がある福島を代表する城下町です。

東日本大震災以降、多くの企業がこの地を訪れています。ある広告会社のグループは、棚田の風景に出会い、土や稲の感触を体感することが新しいアイデアを産むのに効果的との感想を抱きました。「農村の環境から新たな発想が生まれる」事例といえるでしょう。また、震災で大きな影響を受けた福島の実状を知り、被災地と直接向き合うことは、企業のCSR活動を進める絶好の契機です。



山裾に広がる桑畑



震災をきっかけに、農家と一緒に里山の再生へ

農家民宿、農産加工所などを運営する「あぶくま高原 遊雲の里ファーム」を主宰する菅野正寿さん（写真左）。有機農業の知識を活かし、大学の研究者と共同で農業再開に取り組んでいます。娘の瑞穂さん（写真右）は、女性目線で開発した「いちごもち」など地元食材を使ったスイーツをプロデュースしています。「里山は農家だけでは守れません。里山再生に向けて一緒に取り組みませんか」と問いかけています。



プログラム

農家民宿で自己成長

じゃがいもの収穫等、2～3時間の農業体験で大地と触れ合います。また、被災地の現状を見て回ることもできます。夜は地元の人と一緒に食卓を囲んで話を聞きながら交流を深め、復興策と一緒に考えてみましょう。



座禅で体と心を整える

「あじさい寺」と呼ばれる曹洞宗の高林寺は、毎年6月下旬から7月中旬にかけて美しい紫陽花が咲き誇るお寺です。座禅体験（45分間）で邪念を払い、心の静寂を取り戻しましょう。プレッシャーをコントロールする力を身に付けることが期待できます。



プログラムの一例

- 農業体験
(大豆、じゃがいも等)
- 座禅体験
- 郷土料理づくり体験
(だんご汁など)
- 豆腐づくり体験
- 「ふくしま農家の夢ワイン」見学
- 放射性物質検査場の見学
- 堆肥センター見学
- 「木幡の幡まつり」参加(12月開催)
- 農産物、特産品の共同開発、PR
- 耕作放棄地の活用方法検討
- 鳥獣被害対策の検討
- 新規就農者との交流

問い合わせ先

特定非営利活動法人
ゆうきの里東和
ふるさとづくり協議会

〒964-0111

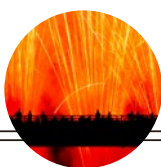
福島県二本松市太田字下田 2-3

TEL: 0243-46-2116 (協議会事務局直通)

EMAIL: yuukinosato@piano.ocn.ne.jp

<http://www.touwanosato.net>





地域の紹介

「雑談力」からコミュニケーション力を学ぶ

本宮市は、奥羽山脈と阿武隈山地にはさまれた中通りの中部に位置します。「定住促進につながる住みよいまちづくり」を掲げ、福島県内の「住みよさランキング」では、10年連続1位を獲得しています。

「本宮農家民宿連絡協議会」は、11軒の農家民宿を営む農家が運営する組織です。同協議会の伊藤かおる会長が営む「いとうさんち」では、アスパラガス栽培が体験できるプログラムを実施しています。直売所で地元の人と一緒に作業したり、伊藤



本宮市の田園風景

家の家族と一緒に食卓を囲むなど、地域の人たちとの親密な交流が特徴です。宿泊や農業体験を通して、田舎のお母さんたちの「雑談力」からコミュニケーション力を学べます。

美しい里山と、おもてなしの心が溢れる住民との交流は、コミュニケーション力を磨く体験プログラムとして参加者に好評です。特に、若手社員の離職に悩む企業にとっては、コミュニケーション力や連帯感を高めるための研修に適しています。



プログラム



野菜栽培の現状を知る

農業体験を通して、店頭に並ぶ野菜がある一方で廃棄される野菜もあることを知ります。モノの真の価値を認識する機会となり、社員の成長につながります。



「第二のふるさと」農家民宿

本宮市の農家民宿では、家主と一緒に料理するなど、実際に農家の生活を体験することができます。各民宿では、参加者にとっての第二の故郷になれるよう、温かいおもてなしを心がけています。



本格的な加工場で作業

食品加工場を併設する農家民宿「ミーネ」では、自社の畑「ごとうファーム」で収穫した米やキュウリを併設する食品加工場で加工体験することができます。共同作業の体験でチームワークが高まります。



プログラムの一例

- 農地耕作作業体験
- 農産品加工体験
(米粉クッキー、キュウリ漬け等)
- 田植え・稲刈り体験
- 農作業体験
(収穫から流通まで)
- 酒蔵見学
- 機織り体験
- 苔玉づくり
- 座禅体験
- 食のワークショップ
- 動物とのふれあい体験
- 里山散策
- 太陽光発電施設の見学

お問い合わせ先

本宮農家民宿連絡協議会

事務局 加藤和子

TEL: 080-2844-2727

<http://motomiya-noukaminsyuku.com/>

**地域の紹介****里山で「生きる知恵」を学び、農業で「生きる力」を磨く**

郡山市逢瀬は安積山の雪解け水に恵まれ、一面に田畑が広がるのどかな里山です。現在、5軒の農家が農家民宿や農作業体験プログラムを実施しています。

「農作業では五感を使うことで、危険察知能力を鍛えられます」と語るのは、「なんだべ村」村長の石井忠勝さん。ここでは震災経験を活かし、ユニークな農業体験プログラムを提供しています。参加者はその土地に潜む危険をリストアップし、問題を未然に察知することで、自分で考える力と先を見通す力を鍛えます。また、周辺にあるもので火を起こしたり、飲み水を作る技を修得。「逢瀬で生きる力を磨いていただきたい。ここでの共同作業をきっかけに、企業内の他部署の人とのつながりが見えて、感謝する気持ちと連帯感も育まれます」。



「なんだべ村」の村長は、私ではなくこの自然なんですよ」と語る石井さん

共同作業で思いやりの大切さを再認識し、業務効率アップに

薪割りや木炭づくりなどの体験は、参加者が力を合わせて行います。限られた時間で仕上げるためには仲間と連携することが欠かせません。農作業からコミュニケーションの重要さに気づくことでしょう。



竹細工体験

プログラム**飲食業におすすめの体験**

グループでの共同作業には味噌づくり体験がおすすめ。一人あたり10kg以上の味噌を仕込みます。

**農家民宿ならではの体験**

民宿ごとの持ち味を活かしたオリジナルの体験プログラム。写真はビザづくり体験の様子。

**心底笑ってストレスを解消!**

伝統芸能「ひょっとこ踊り」の体験。「ひょっとこ」のお面で踊り、自分自身を解放してみましょう。

**プログラムの一例**

- 有機農業体験（有機栽培米）
- 味噌づくり体験
- 郡山市の伝統芸能体験（ひょっとこ踊り）
- 木炭づくり体験
- 薪割り・薪づくり体験
- 竹細工体験
- 里山散策
- 泊まり込み合宿
- いなか料理づくり体験
- 危険予知訓練
- 耕作放棄地での企業農園づくり

問い合わせ先

逢瀬いなか体験交流協議会



〒963-0213
福島県郡山市逢瀬町多田野字久保田47
逢瀬町商工会内
TEL: 024-957-3250
FAX: 024-957-3250
<https://www.ouse-inaka-taiken.com/>

地域の紹介



耕作放棄地を再生利用し「地域の宝」を生む

三春町は福島県のほぼ中央部、阿武隈山地の西裾に位置します。豊かな自然に包まれ、梅、桃、桜の花が一斉に咲き誇ることから名付けられたという三春町は、旧城下町の街並みを残す歴史ある美しい街です。「三春滝桜」は樹齢1000年以上と言われ、「日本三大桜」の1つにも数えられる名所です。

三春町では、耕作放棄地を活用して酒米を育て、田植えから稲刈り、さらにお酒の仕込みまで一連の日本酒づくりを体験することができます。日本酒づくりは“名水あるところに銘酒あり”といわれるように、美味しい水が欠かせません。ここ三春



三春滝桜

町では、阿武隈山地の豊富な伏流水を利用することができます。「日本一美味しいお酒をつくる」という目標を設定し、モチベーションを高めて作業に取り組むことにより、チームワークも良くなるなどの効果も期待できます。農作業や日本酒づくりを体験し、出来上がったお酒で仲間と一緒に乾杯すれば、さらに組織の絆が強まることでしょう。



鷹巣酒米生産者のみなさん



三春町でつくった日本酒

プログラム



ブルーベリー農業体験

耕作放棄地を再生したブルーベリー園が4箇所あります。その1軒、「かおるブルーベリー園」では、ブルーベリーの摘み取り、加工品づくり、木の剪定など、様々な体験プログラムを通年で提供しています。オーナーの千葉夫妻は、かつて葉タバコ栽培や養蚕業を営んでいましたが需要減少によりブルーベリー栽培に転換。「過去にしがみつかず、いち早く切り替える判断と勇気が成功の鍵」と語る千葉初吉さんの言葉は、時代の変化に対応する企業人にも勇気を与えてくれることでしょう。



三春の里 田園生活館

田園風景のなかで田舎暮らしを楽しめる「三春の里田園生活館」。大浴場、宴会場、農産物直売所などを完備し、宿泊も可能です。茅葺屋根のレストランでは、三角揚げや凍み餅など地場食材をふんだんに使った郷土料理が人気。



プログラムの一例

- 酒米・日本酒づくり体験
- ブルーベリー農業体験
- 座禅・写経体験
- 本格的な農作業体験（剪定、施肥等）
- 伝統文化体験（一貫張り）
- 星空・天体観測
- 食品加工体験（ブルーベリージャム）
- ワークショップ（地域課題の解決）
- 農産物、特産品の共同開発、PR
- 三春ダム堤体内見学
- いちご・りんご収穫体験とお菓子教室
- 福島さくら遊学舎の見学（廃校を活用した展示施設）

お問い合わせ先

福島県三春町役場 産業課



〒963-7796

福島県田村郡三春町字大町1番地の2

TEL: 0247-62-2111

FAX: 0247-62-3300

<http://www.town.miharu.fukushima.jp/>



地域の紹介

企業と農家をつなぐ「ダリア」生産

埴町は県の南部に位置し、花づくりが盛んです。約300種のダリアを栽培し、“ダリアの町”として有名です。

このダリアを通じて、埴町と交流を続けるのが東京の生花チェーン「青山フラワーマーケット」を運営する株式会社パーク・コーポレーションです。同社では花の仕入れ先としてだけでなく、埴町で新人研修や社員勉強会を開催しています。社員が生産者と一緒に農作業することで、ダリアの特徴や手入れ方法などの知識を身につけ、顧客対応にも役立っています。生産・加工・小売に一環して関わることで、日頃の業務に対するモチベーションも高まります。生産者にとっては、都会の人気店から選ばれていると



風呂山公園の山ツツジ

いう自信と誇りを持つことができます。

同社は埴町で毎年「ブーけづくり教室」を開催しています。住民が町で生産された花を使ってオリジナルのブーけを作ること、地域への誇りを持つことにつながり、企業にとってはCSR活動となっています。社員による農業体験は、農作業の人手不足にも一役買っており、農家に喜ばれることで社員の自己肯定感を満たし、メンタルヘルスケアの一環にもなるようです。



ブーけづくり教室の様子



プログラム

“厄介者”を活用した「竹パウダー」



竹は、昔は生活に密着し様々な利用がされてきましたが、現在はあまり利用されなくなり、いつしか“厄介者”と言われるようになりました。そこで、埴町では「竹パウダー」という竹を活用した土壌改良材を作り始めました。竹を粉末状にして、農地に散布することで、根張りが良くなり、生花の日持ちが良くなるなど、品質向上が見られました。農業体験プログラムでは、この竹パウダーの加工

や散布体験に参加します。不要品から価値ある商品を生み出す体験は、社員の発想力を刺激することでしょう。

その他、野菜収穫や乗用草刈機での作業、廃校を利用したカフェで地元の人との交流などの体験メニューも豊富です。



埴町の温泉施設と農家民宿

「湯遊ランドはなわ」は、宿泊・飲食・キャンプ施設を併設した公営の温泉浴施設で、県内でも有数の泉質を誇ります。

「四季彩菜工房」は、無農薬のコンヒカリを生産する農家民宿。農業体験のほか、本格的な釜でのピザ焼き、昆虫採集なども楽しめます。



プログラムの一例

- 農業体験（竹パウダー農法）
- ダリアブーけづくり体験
- ダリアの管理作業体験
- ダリア染め体験
- そば打ち体験
- 放射性物質検査場の見学
- フィールドワーク（風呂山公園、川上溪谷など）
- 農産物、特産品の共同開発、PR
- 耕作放棄地の再生
- 里山環境の整備
- 竹パウダーの加工体験



問い合わせ先

埴町観光協会

〒963-5405
福島県東白川郡大字埴字桜木町 388-1
TEL: 0247-43-3400
EMAIL: kanko-hanawa@pony.ocn.ne.jp
<http://hanawa-kanko.com/>





地域の紹介

「トマトの摘み取り体験」でリーダーの成長を促す

いわき市四倉は太平洋に面し、夏は涼しく、冬は温暖な地域です。ここにある「ワンダーファーム」は、“五感を耕す農と食の体験ファーム”をキャッチフレーズに開業した体験型複合施設。トマトやいちご、米等様々な農作物を栽培し、年間を通じて農業研修プログラムを実施しています。

「トマトの摘み取り体験」は、リーダー育成のために、ユニークな方法を取り入れています。まず、リーダーだけに作業内容を伝え、そこからリーダーが効果的な方法を考え、メンバーに指示するというもの。



株式会社ワンダーファームで代表取締役を務める元木寛さん



ワンダーファーム敷地内の田んぼアート

目的達成や課題解決に向けて、リーダーとしての自覚を促すことが狙いですが、チームでの話し合いが活発になり、風通しの良い組織づくりににも有効です。これまでも若手社員のフォローアップ研修として採用されています。

施設内のBBQスペースでは、自分で収穫した野菜を焼いて食べたり、地元の人と一緒にBBQをしながら交流する機会を設けることもできます。参加者のなかには、充実した農村での体験を気に入り、その後個人的に訪問する人もいます。



プログラム



一年中できる農業体験

サッカーコート3.5面分の広大な農場でのトマト栽培体験の他、周辺農家の田畑でも農業体験が可能です。



アウトドアで非日常を体感

宿泊はワンダーファーム内でキャンプ(テント貸出も可)、太平洋側に「太平洋健康センター いわき蟹洗温泉」もあります。



寺修行で心身を鍛錬

いわき三大薬師のひとつ「関伽井嶽薬師」では、地下足袋で登山道や参道を登り、本格的な寺修行を体験できます。



プログラムの一例

- トマト収穫体験
- 寺修行体験（地下足袋で登山道や参道を登る等）
- 田植え・稲刈り体験
- 伝統芸能体験（傘踊り、じゃんがら念仏踊り）
- 伝統工芸体験（大堀相馬焼）
- アウトドア体験（キャンプ・BBQ等）
- 食品加工体験（トマトビュッス）
- リアル宝探し体験
- 四倉海水浴場での海水浴
- 勝賀岩へハイキング・山菜取り

お問い合わせ先

株式会社ワンダーファーム

〒979-0215

福島県いわき市四倉町中島広町1

TEL: 0246-38-8851

EMAIL: info@wonder-farm.co.jp

http://www.wonder-farm.co.jp/



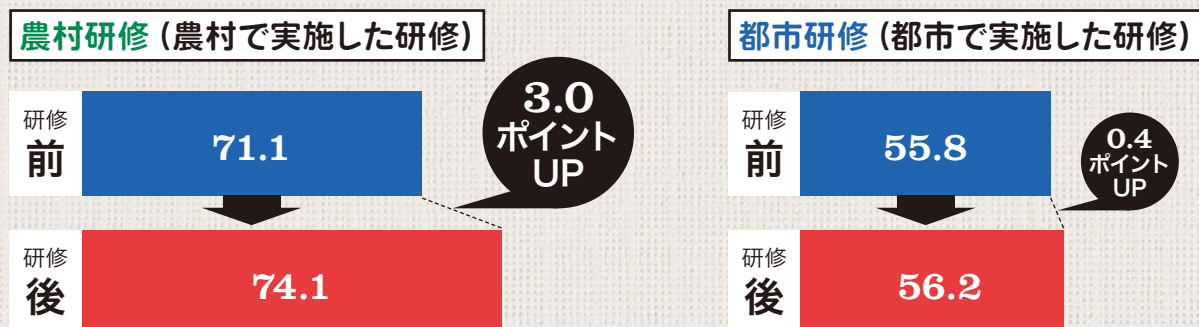
「農村」で実施する研修の効果

～「都市」で実施する研修との比較～

効果
1

仕事のモチベーションを上げるには「農村」が有効です！

研修参加者のモチベーションの変化（研修前後）



このデータは、モチベーションを測定する「やる気」分析システム MSQ（※）による調査結果に基づいています。

（調査対象）農村研修：福島県モニターツアーに参加した企業の社員 都市研修：首都圏で社員研修を実施した企業の社員

※「やる気」分析システム MSQ 仕事のやる気を数値化し、やる気の「高さ」「要因」を明らかにする調査システム。

効果
2

「農村研修」では、課題克服力や主体性の向上が期待されます。

「農村研修」では、研修実施後に全てのモチベータ（要因）のポイントが増加しています。

「農村研修」実施後のモチベータ（要因）変化

モチベータ	適職	自己表現	環境適応	業務遂行	職務管理	期待・評価	人間関係	プライベート	環境整備
研修実施後のポイント増減	+0.28	+0.53	+0.61	+0.39	+0.65	+0.48	+0.42	+0.34	+0.29

「業務内容や職場環境の変化への適応力」
⇒目標や課題をやり遂げようとする考え
や協調性が高まることが期待されます。

「仕事の役割や意義についての理解度」
⇒自身のやるべきことを再認識し、主体的に仕事に取り組むことが期待されます。

※研修実施後の要因別モチベーションを研修実施前と比較し、その増減をポイントに換算し、示したものです。（研修実施前を0ポイントとして算出）

※都市研修では、研修実施後に低下するモチベータ（要因）もあります。

「農村」で実施する研修の効果



社員

「農村」での非日常体験による「気づきや自身の振り返り」を通じて、仕事に対するモチベーションの向上が期待できます。



企業

社員のモチベーションが向上することで、次のような効果が期待できます。「仕事の質・生産性」「会社へ帰属意識」「組織の士気」の向上。

福島県ならではのおすすめポイント

首都圏からの良好なアクセス

東京から郡山駅、福島駅へは、新幹線で一本。首都圏からも近く、かつ本格的な農村でのプログラムを体験できるのは、福島県ならではの魅力です。



豊富な企業向けプログラム

各企業のニーズに合わせて、農村での様々なプログラムをご用意しています。企業活動を行うフィールドとして最適な環境です。



美味しい農産物

恵まれた自然条件を生かして、地域ごとに様々な農産物が生産されています。良質な水で育った美味しいお米や野菜、果物等、ぜひ福島県の農村で味わって、心身ともにリフレッシュしましょう。



食の安全・安心への取組み

食の安全・安心を確保するため、生産・製造・加工・流通・消費の各段階において、食品中の放射性物質検査を実施しています。実際に農産物の検査場の様子を見学いただくことも可能です。



日本一の「ふくしまの酒」

「ふくしまの酒」は、全国新酒鑑評会にて金賞の受賞数が6年連続で日本一を達成。浜通り・中通り・会津の地域ごとに多彩な味わいを楽しむことができます。



復興・創生の新たなステージへ

震災から7年。福島は、復興・創生の新たなステージを迎えています。多くの方々のご支援により震災を乗り越え、福島県民としての誇りを胸に、“新しい福島県”を創る挑戦が続いています。復興に向けて歩む福島へ是非お越しください。



本プログラムでご案内する福島の農村へは、東北新幹線や常磐線の利用、または車の場合は東北自動車道、常磐自動車道の利用が便利です。ぜひ企業活動で、福島の農村体験プログラムをご活用ください。

東京駅から新幹線で郡山駅まで約1時間20分、その後は車で約50分。車は東北自動車道で約3時間30分

東京駅から新幹線で郡山駅まで約1時間20分、その後は車で約75分。車は東北自動車道と磐越自動車道で約4時間

東京駅から新幹線で郡山駅まで約1時間20分、その後は車で約30分。車は東北自動車道で約3時間

東京駅から新幹線で福島駅
まで約1時間30分、その後
は車で約40分。車は東北自
動車道で約3時間40分



東京駅から新幹線で新白河駅まで約1時間25分、その後は車で約60分。車は東北自動車道、または常磐自動車道で約3時間10分

東京駅から新幹線で郡山駅まで約1時間20分、
その後は車で約30分。車は東北自動車道で約3時間

東京駅から新幹線で郡山駅まで約1時間20分、
その後は車で約30分。車は東北自動車道、または
常磐自動車道と磐越自動車道で約3時間10分

東京駅から特急でいわき駅まで約2時間20分、その後は車で約20分。車は常磐自動車道で約2時間40分